

あけまして おめでどうばんざい、します

町長 徳永 哲雄



新年、あけましておめでどうございます。皆さまにおかれましては、令和2年の新春を健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。また、旧年中は町政運営全般にわたり、深いご理解と多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は天皇陛下の御退位および皇太子殿下の御即位に伴い、元号が「平成」から「令和」に改正された歴史的な年でありました。町内では、「星空の街・あおぞらの街」全国大会を「高円宮妃殿下」御臨席の下、盛會裏に開催させていただきました。本町の豊かな自然環境を全国にPRすることができたところとす。

本町は、他のまちがうらやむほどの自然資源を有しており、この貴重な資源を活かし、まち全体がもつと

豊かになる取り組みを官民一体で、今後も進めてまいりたいと考えております。

昨年来、国が川湯温泉街の廃業ホテル1棟の撤去工事を進めているほか、老舗ホテルの営業の廃止があった一方で、本年中には外国人観光客をターゲットとしたホテルの開業が予定され、さらに平成12年以降入山禁止であった硫黄山の登山が、有料のガイド付きツアーとして本年から本格的に開始されます。トレイルコースの整備、キャンプ場の充実などによって、令和3年アドベンチャーツーリズム世界大会の北海道への誘致活動と合わせ、アウトドアに関心を持った外国人観光客が選ぶ観光地、宿泊客が増える温泉地としての魅力づくりに引き続き取り組んでまいります。

地熱開発事業では、本町が国内でも有望な地域として注目されており、市街地における新たな泉源の利活用の検討と湯沼アトサヌブリ地域地熱資源開発事業の実現を進め、市街地活性化やアイヌ文化・伝統などの振興、啓発に対する政策と合わせ、町民の皆さまが豊かになる「まち」を目指してまいります。

農林業におきましても、後継者や担い手対策を支援し、生乳生産量や畑作物の増収を図るとともに、日米貿易協定、TPP11協定、日欧EPAにより影響を受ける農林業者が希望を持って経営に取り組めるよう、農業・農村の発展に努めてまいります。

近年は、全国各地で甚大な被害をもたらす災害が頻発しております。強靱なライフラインの構築を図るため、水道施設の更新や道路改良、橋梁、公園の長寿命化などの取り組みを実施いたします。

また、公営住宅の建替え、下水道事業計画区域外の浄化槽設置補助などによる快適な生活空間の確保とともに、町民の皆さまが健康で

安心して暮らせる体制づくりのために、健康診断に対する特典の拡大、補聴器購入費や社会福祉施設への支援拡大などを進めてまいります。

少子高齢化が進んでいる昨今ですが、弟子屈中学校吹奏楽部が30年ぶりに全道大会出場を果たすなど、子どもたちの活躍は目覚ましいものがあります。町といたしましては、助成制度の一層の充実を図り、応援していきたいと思っております。

早いもので、平成12年12月の初当選から町政を担わせていただき、20年目に入りました。その間、多くの町民の皆さまのご支援ご協力の下、「まちづくり」に邁進させていただきました。新年を迎え、改めて町民皆さまと一丸となった「まちづくり」に取り組んでまいりたいと存じますので、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

新春の門出にあたり、皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

町議会議長 八幡 豊行



町民の皆さま、あけましておめでどうございます。令和2年の新春を迎え、町議会議を代表し謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで新年をお迎えになられたことを、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から町議会に対する格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も議会と致しましては、執行機関と連携を密にし、さまざまな課題の解決に努力を重ねてまいりたいと存じますので、町民皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新たな年が皆さまにとって、さらなる飛躍と充実の年でありますよう、ご清祥とご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

年頭にあたって

豊かになる取り組みを官民一体で、今後も進めてまいりたいと考えております。

昨年来、国が川湯温泉街の廃業ホテル1棟の撤去工事を進めているほか、老舗ホテルの営業の廃止があった一方で、本年中には外国人観光客をターゲットとしたホテルの開業が予定され、さらに平成12年以降入山禁止であった硫黄山の登山が、有料のガイド付きツアーとして本年から本格的に開始されます。トレイルコースの整備、キャンプ場の充実などによって、令和3年アドベンチャーツーリズム世界大会の北海道への誘致活動と合わせ、アウトドアに関心を持った外国人観光客が選ぶ観光地、宿泊客が増える温泉地としての魅力づくりに引き続き取り組んでまいります。

地熱開発事業では、本町が国内でも有望な地域として注目されており、市街地における新たな泉源の利活用の検討と湯沼アトサヌブリ地域地熱資源開発事業の実現を進め、市街地活性化やアイヌ文化・伝統などの振興、啓発に対する政策と合わせ、町民の皆さまが豊かになる「まち」を目指してまいります。

農林業におきましても、後継者や担い手対策を支援し、生乳生産量や畑作物の増収を図るとともに、日米貿易協定、TPP11協定、日欧EPAにより影響を受ける農林業者が希望を持って経営に取り組めるよう、農業・農村の発展に努めてまいります。

近年は、全国各地で甚大な被害をもたらす災害が頻発しております。強靱なライフラインの構築を図るため、水道施設の更新や道路改良、橋梁、公園の長寿命化などの取り組みを実施いたします。

また、公営住宅の建替え、下水道事業計画区域外の浄化槽設置補助などによる快適な生活空間の確保とともに、町民の皆さまが健康で

謹賀新年

弟子屈町議会

議長	八幡 豊行
副議長	近江屋 茂
議員	山田 博
議員	小川 義雄
議員	岩崎 義人
議員	鈴木 康弘
議員	高砂 弥生
議員	高橋 正秀
議員	三上 務
議員	武山 秀樹
議員	徳永 則行

実り多い一年を願って

町教育委員会教育長 小林 俊夫



新年あけましておめでどうございます。令和2年の輝かしい初春を迎え、心よりお慶び申し上げます。

また、本町の学校および地域の教育力向上などに、深いご理解と多大なるご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年、学校教育におきましては、新たな幼保小中高連携事業として、文化交流フェスティバルを開催し、子どもたちから元気いっぱい、の合唱や踊りなどが発表され、参加者全員で合唱した「弟子屈町民の歌」は圧巻でした。

少年団活動や部活動も熱心に行われ、特に弟中吹奏楽部は、30年ぶりの全道大会出場を果たしました。また、弟子屈高校の生徒を対象にした本町初の公営塾には、夏休み中、多くの生徒に受講して頂きました。

安心できる体制づくりのために、健康診断に対する特典の拡大、補聴器購入費や社会福祉施設への支援拡大などを進めてまいります。

少子高齢化が進んでいる昨今ですが、弟子屈中学校吹奏楽部が30年ぶりに全道大会出場を果たすなど、子どもたちの活躍は目覚ましいものがあります。町といたしましては、助成制度の一層の充実を図り、応援していきたいと思っております。

早いもので、平成12年12月の初当選から町政を担わせていただき、20年目に入りました。その間、多くの町民の皆さまのご支援ご協力の下、「まちづくり」に邁進させていただきました。新年を迎え、改めて町民皆さまと一丸となった「まちづくり」に取り組んでまいりたいと存じますので、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

新春の門出にあたり、皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

地域と学校運営を進めるコミュニティ・スクールにつきましても、奥春別小学校、美留和小学校、和琴小学校で導入が進み、本年は弟子屈小学校と弟子屈中学校とで一体化した協議会が設置される予定です。

一方、社会教育活動におきましては、アイヌ民俗資料館の利用実績が前年度比14.4%の大幅増となるなど地域文化や郷土文化への関心が高まっています。

また、スポーツ分野では大会や合宿の誘致活動が好調で、本町で毎年合宿をしている東京国際大学駅伝部は箱根駅伝予選会を初の1位で通過するなど躍進しており、今年のお正月はぜひ町民の皆さまにも同校への声援をお願いします。

本年も、「学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む」という本町の教育目標の具現化に向け、児童生徒の「生きる力」の育成、町民の皆さまの生きがいと潤いある学びの環境づくりに励んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。